大名庭園と島津家別邸

名勝 仙巌園は、江戸時代初期の万治元年（1658）、島津家19代光久によって築かれた薩摩藩主島津家の別邸です。目前の桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた壮大な庭園は、数ある大名庭園の中でも他に類をみないスケールの大きさです。また、海外とつながる「南の玄関口」といわれた薩摩の歴史にふさわしく、中国・琉球文化の影響が園内随所に見られます。歴代当主に愛されたこの庭には、徳川将軍家に嫁いだ篤姫や海外の要人も足を運びました。美しい景色、歴史や文化を今に伝える大名庭園・仙巌園を、どうぞお楽しみください。

観 御殿見学で島津家当主の暮らしを体感

島津家歴代が暮らし、国内外の賓客をもてなした御殿。古写真や調度品で往時の島津家の優雅な生活をしのぶことができます。

ご案内時間	9:30～17:00（最終入場 16:50）
料金（入園料別途）	大人（高校生以上）…… 600円 小・中学生 …… 300円
受付	御殿玄関にお越し下さい

仙巌園・尚古集成館

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」

2015年7月「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されました。鹿児島の構成資産「旧集成館」は、仙巌園や尚古集成館一帯を含むエリアです。ここでは、島津家28代斉彬が他に先駆けて近代化・工業化に取り組み、日本最初の洋式工場群「集成館」を設置しました。斉彬亡き後も、彼の志を受け継ぐ人々が集成館を舞台に強く豊かな国づくりを目指します。そして、彼らが培った技術が、近代日本の中核となり、工業国・技術大国の原点となりました。現在、この地は「日本の近代化・工業化発祥の地」として世界から注目されています。

食 こだわりの料理と桜島・錦江湾の絶景を堪能

D 桜華亭 | 営業. 11:00～15:30

おちついた空間で、島津家や薩摩の伝統料理をお楽しみください。眺めのよいカウンター席もございます。

A 両棒餅屋 | 営業. 9:00～17:00

両棒餅は2本の串が刺さった一口大のお餅で江戸時代より愛されてきました。素朴な鹿児島名物をぜひご賞味ください。

催 武家の伝統を今に伝える四季折々の催し

春
薩摩のひなまつり
流しびな
曲水の宴（きょくすいのえん）

夏
五月幟の展示
朝顔の展示
島津家伝統 七夕飾り

秋
菊まつり
持明祭（じみょうさい）
弓馬術礼法小笠原流 草鹿式（きゅうばじゅつ くさじしき）

冬
大門松の展示
正月行事
愛猫長寿祈願祭

おすすめコース

● 初心者向けの基本コース

とっても広い仙巌園。どこからどこまで見たらいいのでしょう？ 大事なところをしっかり押さえた、初めての方向けの基本コースをご紹介します。

01 反射炉跡 → 09 正門 → 11 錫門 → 桜島展望ポイント → 02 御殿 → 16 望嶽楼 → 22 曲水の庭 → 24 江南竹林 → 水道橋 → 25 猫神社 → 03 尚古集成館 本館（休館中） → F 尚古集成館 別館 → G 磯工芸館 → 04 薩摩切子工場

所要時間 90分

仙巌園
尚古集成館

〒892-0871 鹿児島県鹿児島市吉野町 9700-1
TEL.099-247-1551 http://www.senganen.jp

国際連合教育科学文化機関
United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

明治日本の産業革命遺産
製鉄・製鋼、造船、石炭産業
世界遺産登録年:2015年

Sites of Japan's Meiji Industrial Revolution: Iron and Steel, Shipbuilding and Coal Mining
inscribed on the World Heritage List in 2015

園内マップ

（ ▸ おすすめコース）

01 反射炉跡

鉄製大砲の鋳造のため、28代斉彬が築いた施設の跡です。斉彬たちは実物を見ず、オランダの書物を参考に苦心して建設しました。かつてはおよそ20mの高さの炉がそびえており、洋式工場群「集成館」の中核でした。

02 御殿

江戸時代は別邸として、明治からは一時本邸として使用された御殿。現存する御殿は明治17年（1884）に改築された建物が主体となり、藩主の部屋はすべて最高級の屋久杉で造られ、当時の雰囲気を感じていただけます。

03 尚古集成館 本館（休館中）

現在、島津家800年の歴史や文化を紹介する博物館・尚古集成館 本館として使用されている建物は、慶応元年（1865）に竣工した、現存する日本最古の石造洋式機械工場「旧集成館機械工場」です。

04 薩摩切子工場

吹きガラスからカット・磨きまで、すべての工程を見学できます。美しい薩摩切子と職人の高度な技術をご体感ください。

見学時間｜9:00-16:30｜休憩時間｜10:00-10:15,12:00-13:00,15:00-15:15｜定休日｜月曜、第3日曜（祝日の場合は翌日、翌日曜日）

09 正門

明治28年（1895）、29代忠義が建てさせた正門です。建材は樟が使用されています。門の上部中ほどに島津家の家紋・丸十紋が、その左右には同じく島津家の家紋である桐紋が彫られています。

11 錫門

この門は屋根を錫で葺いていることからその名があります。錫は薩摩の特産品です。江戸時代は、藩主とその世子（嫡男）だけが通ることを許された正門でした。

G 島津薩摩切子ギャラリーショップ 磯工芸館

切子工場に隣接する、島津薩摩切子の直売店。国登録有形文化財の洋館をショップに利用しており、そのレトロな雰囲気も一見の価値ありです。薩摩切子の他、地元作家の作品を多数取り揃えております。

14 鶴灯籠

安政４年（1857）、28代斉彬は鶴灯籠を用いてガス灯の実験を行いました。この後、城下町をガス灯で灯す計画を立てますが、志半ばで急死。豊かな国づくりを目指した斉彬の想いを象徴するものです。